

# 原市場聖書教会

## 週 報

NO. 1006

### 年間聖句

ですから、あなたがたは癒やされるために、互いに罪を言い表し、互いのために祈りなさい。正しい人の祈りは、働くと大きな力があります。

ヤコブ5章16節



2024. 7. 14

# 主日礼拝

## 2024年 7月 14日

礼拝奉仕者

説教：若村和仁師 司会：本多崇兄 奏楽：本多こずえ姉 献金：本多守兄  
受付：本多節子姉

ワーシップ賛美	「あなたの瞳」	—	同
祈り		司会者	
ワーシップ賛美	「イエスにゆだねて」	—	同
使徒信条		—	同
主の祈り		—	同
賛美	聖歌408番「おんめぐみとおんひかりの」	—	同
献金		—	同
感謝の祈り		本多守兄	
聖書朗読	創世記3章1節～24節	司会者	
説教	「人間の墮落とは？」	若村和仁師	
黙祷		奏楽者	
賛美	聖歌539番「見ゆるところによらず」	—	同
頌栄	聖歌383番「ちち・みこ・みたまの」	—	同
祝福		若村和仁師	
後奏		奏楽者	
報告		司会者	



●礼拝後自家焙煎コーヒータイムと  
昼食のご用意もあります。



# 「人間の墮落とは？」

聖書 新改訳 2017 2017 新日本聖書刊行会より抜粋

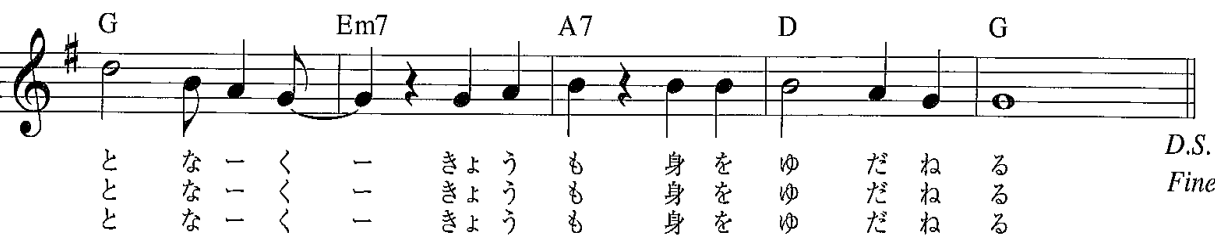
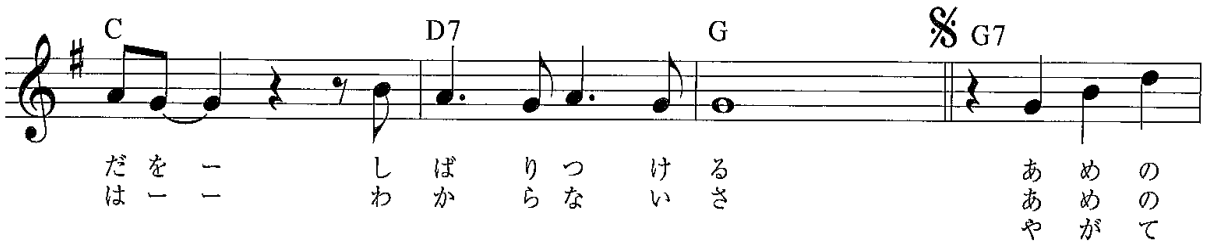
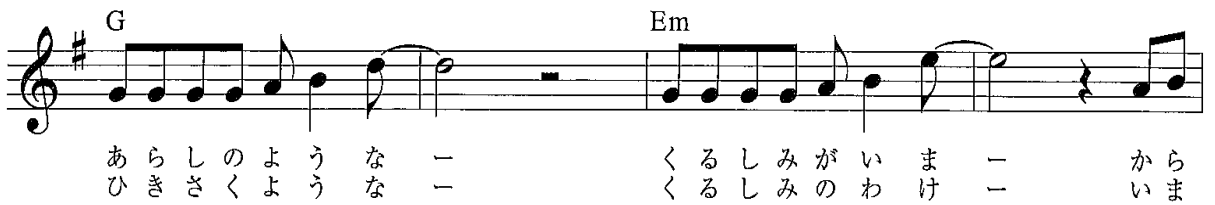
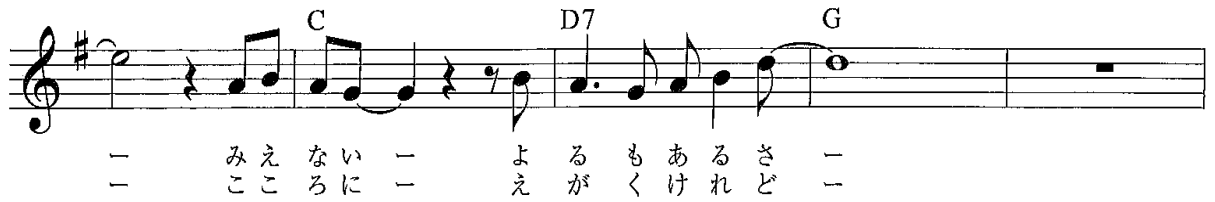
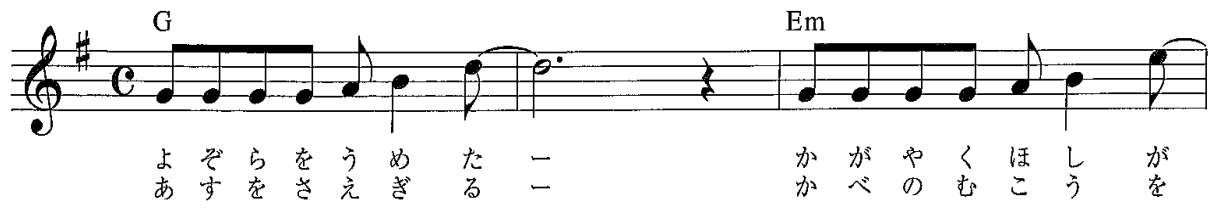
メッセージ聖書箇所

## 創世記3章1節～24節

- 1, さて蛇は、神である主が造られた野の生き物のうちで、ほかのどれよりも賢かった。蛇は女に言った。「園の木のどれからも食べてはならないと、神は本当に言われたのですか。」
- 2, 女は蛇に言った。「私たちは園の木の実を食べてもよいのです。」
- 3, しかし、園の中央にある木の实については、『あなたがたは、それを食べてはならない。それに触れてもいけない。あなたがたが死ぬといけないからだ』と神は仰せられました。」
- 4, すると、蛇は女に言った。「あなたがたは決して死にません。」
- 5, それを食べるそのとき、目が開かれて、あなたがたが神のようにになって善悪を知る者となることを、神は知っているのです。」
- 6, そこで、女が見ると、その木は食べるのに良さそうで、目に慕わしく、またその木は賢くしてくれそうだったので好ましかった。それで、女はその実を取って食べ、ともにいた夫にも与えたので、夫も食べた。
- 7, こうして、ふたりの目は開かれ、自分たちが裸であることを知った。そこで彼らは、いちじくの葉をつづり合わせて、自分たちのために腰の覆いを作った。
- 8, そよ風の吹くころ、彼らは、神である主が園を歩き回られる音を聞いた。それで人とその妻は、神である主の御顔を避けて、園の木の間に身を隠した。
- 9, 神である主は、人に呼びかけ、彼に言われた。「あなたはどこにいるのか。」
- 10, 彼は言った。「私は、あなたの足音を園の中で聞いたので、自分が裸であることを恐れて、身を隠しています。」
- 11, 主は言われた。「あなたが裸であることを、だれがあなたに告げたのか。あなたは、食べてはならない、とわたしが命じた木から食べたのか。」
- 12, 人は言った。「私のそばにるようにとあなたが与えてくださったこの女が、あの木から取って私にくれたので、私は食べたのです。」
- 13, 神である主は女に言われた。「あなたは何ということをしたのか。」女は言った。「蛇が私を惑わしたのです。それで私は食べました。」
- 14, 神である主は蛇に言われた。「おまえは、このようなことをしたので、どんな家畜よりも、どんな野の生き物よりもろわれる。おまえは腹這いで動き回り、一生、ちりを食べることになる。」
- 15, わたしは敵意を、おまえと女の間に、おまえの子孫と女の子孫の間に置く。彼はおまえの頭を打ち、おまえは彼のかかとを打つ。」
- 16, 女にはこう言われた。「わたしは、あなたの苦しみとうめきを大いに増す。あなたは苦しんで子を産む。また、あなたは夫を恋い慕うが、彼はあなたを支配することになる。」
- 17, また、人に言われた。「あなたが妻の声に聞き従い、食べてはならないとわたしが命じておいた木から食べたので、大地は、あなたのゆえにのろわれる。あなたは一生の間、苦しんでそこから食を得ることになる。」
- 18, 大地は、あなたに対して茨とあざみを生えさせ、あなたは野の草を食べる。
- 19, あなたは、顔に汗を流して糧を得、ついにはその大地に帰る。あなたはそこから取られたのだから。あなたは土のちりだから、土のちりに帰るのだ。」
- 20, 人は妻の名をエバと呼んだ。彼女が、生きるものすべての母だからであった。
- 21, 神である主は、アダムとその妻のために、皮の衣を作って彼らに着せられた。
- 22, 神である主はこう言われた。「見よ。人はわれわれのうちのひとりのようになり、善悪を知るようになった。今、人がその手を伸ばして、いのちの木からも取って食べ、永遠に生きることがないようにしよう。」
- 23, 神である主は、人をエデンの園から追い出し、人が自分が取り出された大地を耕すようにされた。
- 24, こうして神は人を追放し、いのちの木への道を守るために、ケルビムと、輪を描いて回る炎の剣をエデンの園の東に置かれた。

# 今週のフーシップ賛美

## イエスにゆだねて



D.S.  
Fine

# 使徒信条

キリスト教会の最古の信条で、普遍的に受け入れられ、告白される信条の一つです。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。  
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。  
主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、  
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、  
三日目に死人の内よりよみがえり、  
天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。  
かしこよりきたりて生ける者と死にたる者とを審きたまわん。  
我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、  
聖徒の交わり、罪のゆるし、  
からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。

アーメン

# 主の祈り

主の祈りは、イエス様が「こう祈りなさい」と教えてくださった祈りです。ですから、「主の祈り（しゅのいのり）」と呼ばれています。翻訳によって言葉づかいは異なりますが、新約聖書マタイによる福音書 6 章 9 節～13 節に書いてあります。

天にまします われらの父よ  
願わくは御名をあがめさせたまえ  
御国をきたらせたまえ みこころの天になるごとく  
地にもなさせたまえ われらの日用の糧を  
今日も与えたまえ われらに罪をおかすものを  
われらがゆるすごとく われらの罪をもゆるしたまえ  
われらを試みにあわせず 悪より救いいだしたまえ  
国と力と栄えとは 限りなくなんじのものなればなり

アーメン



# 御言葉紹介

★2024年7月12日御言葉

・マタイの福音書 6章 25節

ですから、わたしはあなたがたに言います。何を食べようか何を飲もうかと、自分のいのちのことで心配したり、何を着ようかと、自分のからだのことで心配したりするのはやめなさい。いのちは食べ物以上のもの、からだは着る物以上のものではありませんか。

・マタイの福音書 6章 33～34節

まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。

ですから、明日のことまで心配しなくてよいのです。明日のことは明日が心配します。苦労はその日その日に十分あります。

聖書 新改訳 2017 2017 新日本聖書刊行会より引用。

●人間はどうしても心配事製造機です。いろいろなことが心配になりだすと負の連鎖に入ってしまう人もいるぐらいです。

今現代では、「何を食べようか?何を飲もうか?」食べれるものがない……。命に関わるというぐらい食べ物に困る人は日本では少ないかもしれませんが、しかし、世界を見るとき、また聖書の書かれた時代を見るとき、日々の糧というのは、とても大切なことでしたし、命に関わる問題でした。だからこそ、心配してしまうというのは当然です。

では、今の時代、メニューを悩むということはあるかもしれませんが、明日食材を買うお金がない……。明日どうやって生きよう……。というぐらい厳しい人は、今の日本ではだいぶ少なくなっているかと思います。しかし、その代わりに、「子育てにお金が足りるだろうか?」「病気になった時や、老後の資金は大丈夫だろうか?」というようなことで心配することはあるかと思います。

または、もっともっと美味しいものを食べたい、おしゃれな服を着たい!しかし、そのお金がない……。という悩みは現代人の悩みかもしれません。

私たちは、なんでも心配して頭の中でただ考えているだけでは、解決は与えられないことが多いのではないのでしょうか。そこで大切なことは、日々命を与えていただいていることに感謝することなのです。

まずは、神様が私に与えて下さってる恵みを数え感謝することです。そして、続けて神様の義（正しさ）と愛を求め続けることがとても大切なことなのです。

神を愛するとや、神の律法を全うするということは、ただ儀式をこなすことではないのです。聖書が語る神の律法を守るために大切な行動とは「あなたの隣他人を自分自身のように愛すること」に要約されると聖書は語っています。このことを私たちが忘れずに実践して歩むならば難しいことを考えなくても、神の喜ばれる行動となるのです。天に宝を積むこととなるのです。また、神を第一として歩む者（隣人を自分自身のように愛する者）には、必ず必要なものを与えて下さると聖書は語っています。

このことを信じて、心配事を神様に委ね、神様が与えてくださる1日1日の労苦を感謝して受け止め歩む私たちでありたいものです。

今日の1日も、神様の豊かな恵みと祝福があるようお祈りしています。

原市場聖書教会  
若村和仁

## 報 告

- 本日も礼拝後自家焙煎コーヒーをご用意しています。お時間のある方お交わり下さい。
- 本日午後は、昼食はありません。
- 本日予定されていた賛美集会は中止となりました。次回は9月15日（日）です。
- 次週7月21日（日）礼拝後すぐに洗礼式を行う予定です。
- ★聖書を学びたい方、洗礼を希望される方はお気軽に牧師にご相談ください。
- 夏期特別献金の封筒を準備いたしました。夏まで守られた感謝のしるしとしてお献げ下されば感謝です。また続けて教会会計の必要が満たされるようお祈りください。

☆若村和仁師 今週の外部奉仕&予定

- ・7月16日（火） 午後 駿河台大学焙煎体験 （場所：原市場聖書教会）
- ・7月16日～7月19日（火～金） NPO 法人あまやどり （場所：高麗聖書教会）

### 本日午後の予定

☆自家焙煎珈琲タイム。

### 次週礼拝（7月21日〈日〉）

司 会：本多崇兄 洗礼式司式：若村和仁  
 聖 書：マタイ3章13節～17節、  
 説 教：「イエス様も受けた洗礼」若村和仁師  
 奏 楽：本多こずえ姉  
 讃 美：ワーシップ賛美「イエスにゆだねて」「全地に満ちるまで」  
           聖歌423、聖歌418、「だから忘れないで」聖歌383  
 受 付：若村めぐみ姉 献金感謝祈祷：本多節子姉

#### 先週の各集会出席者数

		子供	男性	女性	合計
7月7日（日）	教会学校ハレルヤキッズ	2人			
	礼 拝	3+0人	9+2人	9+3人	26（21+5）人
		（※各集会「対面＋オンライン」表記となります。）			
	夕 礼 拝		希望者がおられませんでした。		
7月10日（水）	祈 り 会		1+0人	4+0人	5（5+0）人

## 集会案内

7月16日（火）	集会はお休みです。	
7月17日（水）	祈 り 会	10:30～12:00
7月21日（日）	ハレルヤキッズ	09:30～10:15
	礼 拝	10:30～12:00

# 頌 栄

## 聖歌383

### 「ちち・みこ・みたまの」

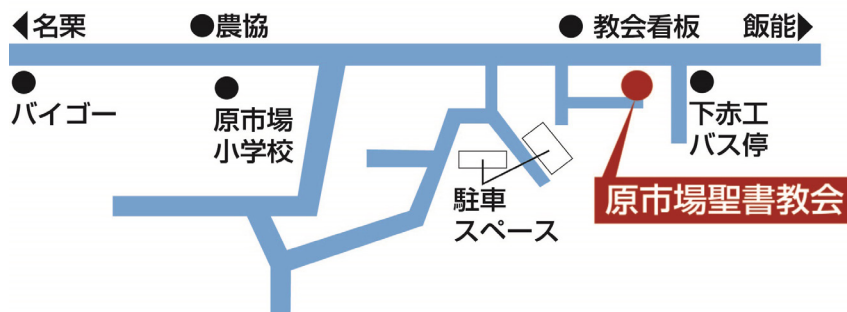
To Father, Son, and Holy Ghost  
Tate and Brady, c. 1700 (UN)

ORTONVILLE  
THOMAS HASTINGS, 1837

♩ ややはやく ♩ = 104

ち ち・み こ・み た ま の お お み か み に - と こ し え か

わ ら ず み さ か え あ れ - み さ か え あ れ - アーメン



埼玉県飯能市下赤工 396-6 tel:042-977-0254  
<http://hbc.holy.jp/>

教会ホームページ <http://hbc.holy.jp/> Eメール [hibawaka@aol.com](mailto:hibawaka@aol.com)

#### ❖ 集会案内 ❖

主 日 礼 拝	日曜あさ	10:30-12:00
ハレルヤキッス	日曜あさ	9:30-10:10
夕拝(第一は休み)	日曜夕方	17:00-18:00
祈 り 会	水曜	10:30-12:00
赤毛のアソ	第2第4火曜日	10:00-13:00
こひつじタイム	第1第3火曜日	10:30-12:00
ハレルヤキッス スペシャル	ひと月一回(日曜か土曜日)	14:00-16:00



## 原市場聖書教会

〒357-0126 飯能市下赤工 396-6  
TEL:042-977-0254  
FAX:042-981-7200

牧 師: 若村和仁